

IN THE
UNITED STATES PATENT & TRADEMARK OFFICE

JC568 U.S. PTO
09/454755
12/06/99

#2
Kose
2-22-a

IN RE APPLICATION OF: Sachiko NISHIURA)
CASE: 4432-19) ART UNIT Unknown
SERIAL NO.:) EXAMINER: Unassigned
FILED ON: HEREWITH)
FOR: APPARATUS AND METHOD FOR CONVERTING)
AN OBJECT DISPLAY DESCRIPTION DOCUMENT)
TO: ASSISTANT COMMISSIONER OF PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

Dear Sirs:

AUTHORIZATION TO PAY AND PETITION FOR THE ACCEPTANCE OF ANY NECESSARY FEES: If any charges or fees must be paid in connection with the following Communication (including but not limited to the payment of issue fees), they may be paid out of our deposit account No. 12-0064. If this payment also requires a Petition, please construe this authorization to pay as the necessary Petition which is required to accompany the payment.

Applicant herewith petitions the Commissioner of Patents and Trademarks to extend the time for response to the Office Action dated _____ for _____ month(s) from _____ to _____. Submitted herewith is check No. _____ for \$_____ to cover the cost of the extension. If a check is lost, or otherwise does not accompany this Petition, please charge my deposit account number 12-0064 in the appropriate amount to cover the cost of the extension. Any deficiency or overpayment should be charged or credited to the above numbered deposit account.

CERTIFICATE OF MAILING	
I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as first-class mail in an envelope addressed to: Assistant Commissioner for Patents, Washington, D.C. 20231 on: _____	
Signature: _____	Print: _____

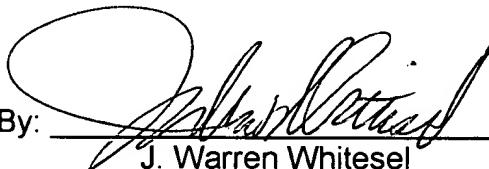
REGISTRATION	
Charles A. Laff	19787
J. Warren Whiteisel	16830
Larry L. Saret	27674
Martin L. Stern	28911
Louis Altman	19373
Barry W. Sufrin	27398
Marshall W. Sutker	19995
Kevin C. Trock	37745
G. Peter Albert, Jr.	37268
Michael B. Allen	37582
William A. Meunier	41193
Lisa C. Childs	39937
Jeffrey H. Canfield	38404

LAFF, WHITESEL & SARET, LTD.
401 N. Michigan Avenue, Suite 1700
Chicago, IL 60611-2412
Telephone: (312)661-2100 Facsimile: (312) 661-0029

Applicant claims all priority rights under 35 USC 119 and submits herewith a certified copy of
Japanese Application No. 350290/1998 filed December 9, 1998 in support thereof.

Respectfully submitted,

LAFF, WHITESEL & SARET, LTD.

By: 
J. Warren WhiteSel

DATED: 12/6/99

JWW/dsr
C:\WINDOWS\Favorites\JWW\4432\19\Sub of Priority.doc

LAFF, WHITESEL & SARET, LTD.
401 N. Michigan Avenue, Suite 1700
Chicago, IL 60611-2412
Telephone: (312)661-2100
Facsimile: (312) 661-0029

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC568 U.S. pro
09/454755
12/06/99

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application: 1998年12月 9日

出願番号
Application Number: 平成10年特許願第350290号

出願人
Applicant(s): 日本電気株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1999年10月29日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤 隆



【書類名】 特許願
【整理番号】 68501644
【提出日】 平成10年12月 9日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 13/00
【発明の名称】 オブジェクト表示記述文書変換装置及びブラウザ
【請求項の数】 10
【発明者】
【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内
【氏名】 西浦 佐知子
【特許出願人】
【識別番号】 000004237
【氏名又は名称】 日本電気株式会社
【代表者】 金子 尚志
【代理人】
【識別番号】 100065385
【弁理士】
【氏名又は名称】 山下 穩平
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 010700
【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9001713
【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 オブジェクト表示記述文書変換装置及びブラウザ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 文書内の複数の元のオブジェクトより、該複数の元のオブジェクトの組より得られる表示画像と同等の表示画像を得るための、前記複数の元のオブジェクトよりも数が少ない新たなオブジェクトの組を生成する生成手段を備えることを特徴とするオブジェクト表示記述文書変換装置。

【請求項2】 前記生成手段は、透明又は半透明でない元のオブジェクトに空間的に隠れる他の元のオブジェクトを削除することを特徴とする請求項1に記載のオブジェクト表示記述文書変換装置。

【請求項3】 前記生成手段は、透明又は半透明な元のオブジェクトと該元のオブジェクトがある層よりも下の層にあり前記最上層の元のオブジェクトと空間的に重なる元のオブジェクトを基に新たなオブジェクトを生成することを特徴とする請求項1又は2に記載のオブジェクト表示記述文書変換装置。

【請求項4】 前記新たなオブジェクトの生成は、前記1の透明又は半透明な元のオブジェクトと該元のオブジェクトより下層にあり前記最上層の元のオブジェクトとが空間的に重なる時間範囲に対して行われることを特徴とする請求項3に記載のオブジェクト表示記述文書変換装置。

【請求項5】 前記生成手段は、元のオブジェクトの表示時間が組の表示時間の範囲外であるときに該元のオブジェクトを削除することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のオブジェクト表示記述文書変換装置。

【請求項6】 前記新たなオブジェクトの組を記録媒体に保存する手段を更に備えることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のオブジェクト表示記述文書変換装置。

【請求項7】 前記元のオブジェクトの組又は前記新たなオブジェクトの組を選択的に保存する手段を更に備えることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のオブジェクト表示記述文書変換装置。

【請求項8】 前記新たなオブジェクトの組を表示する手段を更に備え、ブラウザとして使用されることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載

のオブジェクト表示記述文書変換装置。

【請求項9】 前記元のオブジェクトの組又は前記新たなオブジェクトの組を選択的に表示する手段を更に備え、ブラウザとして使用されることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載のオブジェクト表示記述文書変換装置。

【請求項10】 請求項1乃至9に記載のオブジェクト表示記述文書変換装置としてコンピュータを機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、空間同期及び時間同期の機能を有するオブジェクト表示記述文書を変換する装置に関し、例えば、MPEG (Multimedia and Hypermedia Expert Group) - 5、DHTML (Dynamic Hyper Text Markup Language)、SMIL (Synchronized Multimedia Integration Language) といった規格のオブジェクト表示記述文書を変換する装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

オブジェクト表示記述言語で記述された文書のビューアまたはブラウザ側でデータ入手する際、最適化させるシステムの従来の一例が、特表平9-503088号「情報を検索するための装置と方法」に記述されている。

【0003】

図10に示すように複数の情報源123から情報を検索し、組織化するための情報検索システムの例である(101)。情報源記述113と、ワールドビュー115と、システムネットワークビュー117とを含む知識ベース109は、サブ計画を含む問い合わせ計画を制定するために用いられる。問い合わせサブ計画が実行される場合、問い合わせ計画は、実行されたサブ計画によって検索された情報に応じて冗長サブ計画を枝刈りすることにより最適化される。グラフィカルユーザーインターフェイス103は、知識ベースブラウザ/エディタで統合されたハイパーテキストブラウザを含む。ユーザーインターフェイス103は、ユー

ザーがグラフィック操作を介して知識ベース109に情報源記述を記憶し、前もって記憶された情報源記述をブラウズできるようにする。構築された情報源を照会し、関連した未構築データソース上にハイパーテキストブラウザからの問い合わせ集中を避けるために構築された問い合わせ結果を用いることをシステム（101）は提供する。以上的方法をとて、問い合わせ不要の情報をいかに情報源に取りに行かずに済むかという目的を達成していた。

【0004】

さらに、サーバからの最適化されたデータを送出させるという構成に関して、特開平10-171730号公報の「画像転送方法」には、クライアント側で高解像度のデータを必要とするときにネットワーク負荷を軽減させて画像データを転送する画像転送方法が記載されている。図11に示すように、クライアントに転送してきたデータを画像変換プラグインモジュール308を利用して、最適化された高解像度画像に変換する。このときクライアントのディスプレイ装置の解像度を検査するために、画面解像度設定プログラム306を利用する。306によって生成された結果は、画像変換プログラム304に送信される。送信されたデータは、読者が見ているブラウザで最も見やすい高品質な画像となる。このようにサーバサイドでの最適化は検討されても、全てのサーバから最適化されたデータを送付されているとは限らず、ユーザは受け取ったデータを表示したり保存するしかなかった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、この従来技術には、次のような問題点があった。

【0006】

第1の問題点は、ユーザが内容を参考に必要なデータを選択して必要最小限のデータを入手したとしても、その最小限のデータのなかに最後までユーザに対し出力や表示をしないようなデータが入っている場合は、ビューアやブラウザがユーザに見せないデータに対しても解析表示の作業をするため負荷がかかり表示出力が遅くなり、かつ、保存する場合は必要でないデータも含めて保存することになりデータ容量が多くなってしまうという点である。

【0007】

その理由は、今までの技術ではビューア／ブラウザはサーバから送出されたデータを解釈して表示出力するものとして開発されてきており、また、時間同期や空間同期がデータに機能として入ってきてデータ全てを表示出力するとは限らないようになってきたとしても、ビューア／ブラウザ側は入手データ全てを解析して表示出力するような作りになってしまっているためである。

【0008】

第2の問題点は、サーバ側が画像を含む個々のオブジェクトデータをどんなに最適化したとしても、データの表示組み合わせを考慮した組み合わせによる最適化がされておらず、動画（オブジェクト）が複数ついている動画（オブジェクト）群になってしまいデータ全体として画像同士が重ねあった場合には実質には最適化されたデータにはならないということである。

【0009】

その理由は、空間同期と時間同期の機能により、サーバが動画等の同一時間による重ねあわせを行うことができ、サーバ側でデータを作成して送付する場合には該当する複数動画が重なっているという情報を付けたデータとしてユーザに送出するためである。

【0010】

本発明は、画像を表示するための負荷が低減でき、文書データを保存するための必要容量を削減することを可能とするオブジェクト表示記述文書変換装置およびそれを備えたブラウザを提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明によるオブジェクト表示記述文書変換装置は、文書内の複数の元のオブジェクトより、該複数の元のオブジェクトの組より得られる表示画像と同等の表示画像を得るための、前記複数の元のオブジェクトよりも数が少ない新たなオブジェクトの組を生成する生成手段を備えることを特徴とする。

【0012】

また、本発明によるオブジェクト表示記述文書変換装置は、前記生成手段は、

透明又は半透明でない元のオブジェクトに空間的に隠れる他の元のオブジェクトを削除することを特徴とする。

【0013】

さらに、本発明によるオブジェクト表示記述文書変換装置は、前記生成手段は、透明又は半透明な元のオブジェクトと該元のオブジェクトがある層よりも下の層にあり前記最上層の元のオブジェクトと空間的に重なる元のオブジェクトを基に新たなオブジェクトを生成することを特徴とする。

【0014】

さらに、本発明によるオブジェクト表示記述文書変換装置は、前記新たなオブジェクトの生成は、前記1の透明又は半透明な元のオブジェクトと該元のオブジェクトより下層にあり前記最上層の元のオブジェクトとが空間的に重なる時間範囲に対して行われることを特徴とする。

【0015】

さらに、本発明によるオブジェクト表示記述文書変換装置は、前記生成手段は、元のオブジェクトの表示時間が組の表示時間の範囲外であるときに該元のオブジェクトを削除することを特徴とする。

【0016】

更に、本発明によるオブジェクト表示記述文書変換装置は、上記のオブジェクト表示記述文書変換装置において、前記新たなオブジェクトの組を記録媒体に保存する手段を更に備えることを特徴とする。

【0017】

更に、本発明によるオブジェクト表示記述文書変換装置は、上記のオブジェクト表示記述文書変換装置において、前記元のオブジェクトの組又は前記新たなオブジェクトの組を選択的に保存する手段を更に備えることを特徴とする。

【0018】

更に、本発明によるオブジェクト表示記述文書変換装置は、上記のオブジェクト表示記述文書変換装置において、前記新たなオブジェクトの組を表示する手段を更に備え、ブラウザとして使用されることを特徴とする。

【0019】

更に、本発明によるオブジェクト表示記述文書変換装置は、上記のオブジェクト表示記述文書変換装置において、前記元のオブジェクトの組又は前記新たなオブジェクトの組を選択的に表示する手段を更に備え、ブラウザとして使用されることを特徴とする。

【0020】

本発明によるコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、上記のオブジェクト表示記述文書変換装置としてコンピュータを機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とする。

【0021】

【発明の実施の形態】

本発明は、ユーザ（クライアント）が送出側（サーバ）から送付されてきたデータをブラウザやビューアで表示する場合、または、前記データをユーザが保存する場合に、送出側から送付されてきたデータを、入力後に自動的にオプティマイズすることによって、送付されてきたデータと同じ内容をより高速に表示、または、送付されてきたデータをよりコンパクトなデータ容量で保存できるシステムの構成を提供するものである。

【0022】

図1は本発明の一実施形態のブロック図である。図1において、データ入力手段1から入力されたデータを入力データ一時保存手段2に一時保存して、データ解析手段3により解析して、出力手段4により表示出力するようなビューアシステムにおいて、オプティマイズ解析手段5と、オプティマイズ手段6と、オプティマイズデータ保存手段7と、選択手段8と、ユーザ入力手段9と、正式保存手段10とを有する。

【0023】

選択手段8がユーザに対しオプティマイズ機能を働かせるか否かを選択させ、ユーザがユーザ入力手段9よりオプティマイズ機能をONにするよう選択した場合は、入力データ一時保存手段2内のデータをオプティマイズ解析手段5によりオプティマイズできる場所があるか解析して、オプティマイズ手段6によりオプティマイズ処理を行い、オプティマイズされた後のデータをオプティマイズデータ

ーター時保存手段7内に一時的に保存し、そのデータを、表示の場合はデータ解析手段3により解析し出力手段4で表示し、保存する場合は正式保存手段10により保存する。また、ユーザがオプティマイズ機能をOFFにするよう選択した場合は、入力されたデータを、データ解析手段により解析してビューアまたはブラウザに表示、または、正式保存する。ここで、オプティマイズ処理とは、時間同期空間同期に対応した最適化処理のことと、たとえば、空間的に一番上に表示されるものが、時間的にも空間的にも他のオブジェクトを隠してしまう場合に隠れてしまうオブジェクトを削除したり、時間的に表示する時間を超えた範囲に表示するオブジェクトが存在する場合は該当オブジェクトを削除したり、重なり合う複数の動画オブジェクトを一つの動画オブジェクトに作成し直す等の処理である。

【0024】

このようにして、入手データをビューアまたはブラウザによる表示を考慮してビューアまたはブラウザ側で自動オプティマイズして、データを改良することで、入手データとまったく同じ内容の高速表示、コンパクト保存を可能にする。

【0025】

図1は、本発明の自動オプティマイズ表示および保存方式の一実施形態のプロック図である。1はデータ入力手段、2は入力データ一時保存手段、3はデータ解析手段、4は出力手段、5はオプティマイズ解析手段、6はオプティマイズ手段、7はオプティマイズデータ一時保存手段、8は選択手段、9はユーザ入力手段、10は正式保存手段である。

【0026】

次に各部の動作について説明する。

【0027】

データ入力手段1は、コンテンツ等のデータを入力する。入力データ一時保存手段2は、入力データを一時的に保存する。データ解析手段3は、データをデータの作成された形式を基に解析する。出力手段4は、解析されたデータを表示あるいは印刷する。オプティマイズ解析手段5は、オプティマイズできるデータを探す解析を行い、オプティマイズ手段6は、データのオプティマイズを行う。オプ

ティマイズ解析手段5とオプティマイズ手段6はマルチ処理にて相互に関連付けて動作する。オプティマイズドデータ一時保存手段7は、オプティマイズ後のデータを保存する。選択手段8は、ユーザにオプティマイズを機能として使用するか否かの選択をさせるための関連情報の出力、ユーザ選択の反映を行う。ユーザ入力手段9は、ユーザがオプティマイズ機能を使用するか否かの選択の入力を受け付ける。正式保存手段10はデータをハードディスク等に保存する。

【0028】

次に、図1及び図2のフローチャートを参照して本実施形態の全体の動作について詳細に説明する。

【0029】

まず、データ入力手段1によりデータを入力する（ステップA1）。次に、入力データ一時保存手段2が入力データを一時保存する（ステップA2）。

【0030】

あらかじめ選択手段8とユーザ入力手段9によりユーザがオプティマイズ機能をONにするかOFFにするかを選択させておくが、ユーザ選択がオプティマイズ機能ONの場合（ステップA3でYES）は、入力データ一時保存手段2に保存されているデータのなかにオプティマイズ解析手段5によりオプティマイズできるデータを検索し、オプティマイズ手段6によりオプティマイズできるデータをオプティマイズするように、オプティマイズ解析手段5とオプティマイズ手段6が連動し（ステップA4）、最終的にオプティマイズ解析手段5がオプティマイズできるデータが無くなったことを検出した時点で、オプティマイズしたデータをオプティマイズドデータ一時保存手段7が保存する（ステップA6）。ユーザ選択がオプティマイズ機能OFFを選択した場合（ステップA3でNO）は、ステップA4、A6は省略される。次に、表示をするか否かの判断をする（ステップA7）。表示する場合は表示処理をしてから（ステップA8）、表示しない場合はそのまま保存するか否かの判断に進む（ステップA9）。保存する場合は保存処理をしてから（ステップA10）、保存しない場合はそのまま終了する。

【0031】

次に、具体例を用いて説明する。

【0032】

図3は表示処理の一具体例の流れ図で、図4は保存処理の一具体例の流れ図で、図5はユーザにオプティマイズ機能をONにするかOFFにするかを選択させるとときに使用するユーザ選択画面の一例で、図6はオプティマイズ解析手段5にて解析する内容具体例の一例で、図7はオプティマイズ手段6にてオプティマイズする処理内容具体例の一例で、図8は入力データ一時保存手段2に保存されているデータの一例の図で、図9はオプティマイズデータ一時保存手段7に保存されているデータの一例の図である。

【0033】

はじめにオプティマイズ機能OFFの場合を具体例を使用して説明する。データ入力手段1からデータを入力する(A1)。入力されたデータは図8の81のよう

「<データ始まり><以下のデータ全てを0から10分まで表示><静止画ファイルAAA、5分から10分まで表示、座標(10. 10)、サイズ20×30、優先順位2><テキストファイル BBB、7分から9分まで表示、座標(10. 10)、サイズ10×10、優先順位3><動画ファイルCCC、5分から10分まで表示、座標(10. 10)、サイズ20×40、優先順位1、半透明><動画ファイルDDD、15分から20分まで表示、座標(0. 0)、サイズ10×10、優先順位1><データ終わり>」

となっている。この入力データを入力データ一時保存手段2が保存し(A2)、オプティマイズ機能がOFFの場合(A3でNO)は、表示判断に行き(A7)、表示を必要としない場合は、保存判断に行き(A9)、表示が必要な場合は表示処理(A8)を行う。

【0034】

この表示処理A8は図3の流れ図の通りであり、オプティマイズ表示がOFFであるので(B1でNO)、入力データ一時保存手段2から入力データをそのまま選択し(B3)、データ解析手段3によって入力データを解析し(B4)、出力手段4で表示する(B5)。

【0035】

この例では、データ解析手段3は、データ内容<データ始まり>を、「ここからデータが始まる」と解析し、データ内容<以下のデータ全てを0から10分まで表示>を、「ここから全ての内容表示を0分からスタートさせ10分で表示を終了させる」と解析し、データ内容<静止画ファイルAAA、5分から10分まで表示、座標(10. 10)、サイズ20×30、優先順位2>を、「静止画ファイルAAAを座標(10. 10)の位置にサイズ20×30の大きさで上から優先順位2番で表示させる」と解析し、データ内容<テキストファイル BBB、7分から9分まで表示、座標(10. 10)、サイズ10×10、優先順位3>を、「テキストファイル BBBを座標(10. 10)の位置にサイズ10×10の大きさで優先順位を上から3番めで7分から9分までの間表示する」と解析し、データ内容<動画ファイルCCC、5分から10分まで表示、座標(10. 10)、サイズ20×40、優先順位1、半透明>を、「動画ファイルCCCを座標(10. 10)の位置にサイズ20×40の大きさで一番上に5分から10分までの間半透明に表示する」と解析し、データ内容<動画ファイルDDD、15分から20分まで表示、座標(0. 0)、サイズ10×10、優先順位1>を、「動画ファイルDDDを座標(0. 0)の位置にサイズ10×10の大きさで一番上に15分から20分まで表示する」と解析し、データ内容<データ終わり>を、「ここでデータは終了する」と解析し、それらの解析結果の内容を出力手段4は表示する。次に、保存処理判断(A9)に進み、保存しない場合は一連の処理を終了させ、保存する場合は保存処理(A10)に進む。保存処理A10は図4に示す流れ図の通りで、オプティマイズ保存の判断(C1)がNOなので入力データ一時保存手段2内のデータを選択し(C3)、選択したデータを正式保存手段10に保存して(C3、C4)、保存処理は終し、一連の処理も終了となる。

【0036】

次に、オプティマイズ機能がONの場合の具体例を説明する。図5の51は選択手段8がユーザ入力手段9によってユーザにオプティマイズ機能をONにするかOFFにするかの選択をさせるためのユーザ表示メッセージのイメージ図である。ここでは「オプティマイズ機能の使用」はON、「表示に使用」はON、「

「保存に使用」はOFFが選択されている。データ入力手段1から図8の81で示されるデータが入力され(A1)、入力データ一時保存手段2に一時保存され(A2)、オプティマイズ機能がONか否かの判断でYESに進み(A3でYES)、オプティマイズ解析手段5によりオプティマイズのための解析を、オプティマイズ手段6によりオプティマイズ処理を行う。オプティマイズ解析手段5内に含まれるオプティマイズ解析内容は図6の符号61の一具体例に示す通りで、時間同期、空間同期を考慮した内容が解析される。

【0037】

解析内容が「1. 複数のオブジェクトが重なり、かつ、一番上のオブジェクトの表示時間内にその他のオブジェクト表示時間が完全に含まれ、かつ、一番上のオブジェクトのサイズが、他のオブジェクトのサイズより大きく、表示位置を考慮しても一番上のオブジェクトが他のオブジェクトを隠している」という内容である場合には、1-1または1-2を適用し、

1-1. 一番上のオブジェクトが透明又は半透明ではない場合には、処理として、他のオブジェクトに対する処理1(図7参照)を選択し、

1-2. 一番上のオブジェクトが透明、半透明の場合には、一番上のオブジェクトを取り除き、残りの複数のオブジェクトを対象に解析内容1を解析する。なお、「取り除き」とは、処理1の削除とは異なり、解析の対象から取り除くことを意味する。

【0038】

解析内容が、「2. 複数のオブジェクトが時間的にも空間的にも重なり、一番上にあるものが半透明または透明」という内容である場合には、2-1または2-2を適用し、

2-1. 動画が含まれる場合は、処理として、完全に重なる時間に対し全てのオブジェクトに対する処理2を選択し、

2-2. 動画を含まない場合には、処理として、完全に重なる時間に対し全てのオブジェクトに対する処理3を選択する。

【0039】

解析内容が、「N. オブジェクトの表示時間が完全に全体の表示時間範囲を超

えて設定されている」という内容である場合には、対象となるオブジェクトに対し処理1を行う。

【0040】

さらにオプティマイズ処理の内容は図7の符号71の一具体例のイメージに示す通りで、処理番号と処理内容が対応されており、「処理1」に対し「オブジェクト削除」が、「処理2」に対し「オブジェクトを複数重ねあわせた動画を新たに一つの動画に作成し直す」が、「処理3」に対し「オブジェクトを複数重ねあわせた静止画を新たに一つの静止画に作成し直す」が、「処理M」に対し、「内容M」が対応している。

【0041】

ここで今回の具体例のデータをオプティマイズ解析およびオプティマイズ処理に対応させる（図2のステップA4）と、図8の符号81のデータのオプティマイズ解析内容1、に<静止画ファイルAAA、5分から10分まで表示、座標（10. 10）、サイズ20×30、優先順位2>、<テキストファイル BBB、7分から9分まで表示、座標（10. 10）、サイズ10×10、優先順位3>、<動画ファイルCCC、5分から10分まで表示、座標（10. 10）、サイズ20×40、優先順位1、半透明>の3点のオブジェクト記述が含まれ、その条件が「1-2は一番上のオブジェクトが透明、半透明の場合、一番上を取り除き、残りの複数のオブジェクトを対象に解析内容1を解析させる。」に当てはまるので、優先順位が一番上にあるオブジェクト<動画ファイルCCC、5分から10分まで表示、座標（10. 10）、サイズ20×40、優先順位1、半透明>を取り除き、<静止画ファイルAAA、5分から10分まで表示、座標（10. 10）、サイズ20×30、優先順位2>、<テキストファイル BBB、7分から9分まで表示、座標（10. 10）、サイズ10×10、優先順位3>で解析内容1に解析させると、「1-1一番上のオブジェクトが透明、半透明ではない場合は処理として、その他のオブジェクトに対し処理1」という処理番号がついているため<テキストファイル BBB、7分から9分まで表示、座標（10. 10）、サイズ10×10、優先順位3>のオブジェクトに対し、処理1の内容「オブジェクト削除」を適合し削除処理が行われる。

【0042】

さらに残りのオブジェクト<静止画ファイルAAA、5分から10分まで表示、座標(10. 10)、サイズ20×30、優先順位2>、<動画ファイルCCC、5分から10分まで表示、座標(10. 10)、サイズ20×40、優先順位1、半透明>の2点にオプティマイズ解析内容「2、複数のオブジェクトが時間的にも空間的にも重なり、一番上にあるものが半透明または透明」が適合され、2-1または2-2を適用してみると「2-1動画が含まれる」ので「完全に重なる時間に対し全てのオブジェクトに対し処理2」を行う。処理2の内容は、「オブジェクトを複数重ねあわせた動画を新たに一つの動画に作成し直す」であるため、半透明な動画ファイルCCCを静止画ファイルAAAに重ね合わせた新しい動画ファイルXXXを作成し直して、二つのオブジェクトを統合させた<動画ファイルXXX、5分から10分まで表示、座標(10. 10)、サイズ20×40、優先順位1>というオブジェクトを新たに作成する。

【0043】

さらに符号81の入力データファイル<以下のデータ全てを0から10分まで表示>という全体表示時間に対し、記述されているオブジェクトの中に<動画ファイルDDD、15分から20分まで表示、座標(0. 0)、サイズ10×10、優先順位1>が存在するため、このオブジェクトが解析内容「N. オブジェクトの表示時間が完全に全体の表示時間範囲を超えて設定されている」の適合となり、「オブジェクトに対し処理1」が対応付けられる。符号71の処理1の内容「オブジェクト削除」が対応し<動画ファイルDDD、15分から20分まで表示、座標(0. 0)、サイズ10×10、優先順位1>というオブジェクトは削除される。

【0044】

このような流れでオプティマイズ解析内容に適合するオブジェクトが無くなつた時点でオプティマイズが終了となり、オプティマイズしたデータをオプティマイズデータ一時保存手段7内に保存する(A6)。オプティマイズされたデータは図9の符号91の内容「<データ始まり><動画ファイルXXX、5分から10分まで表示、座標(10. 10)、サイズ20×40、優先順位1><データ終まり>」となる。

タ終わり>」になっている。次に表示するか否かの判断で、表示すると判断すると（ステップA7でYES）、表示処理（ステップA8）に進み、図5に示す様にユーザ選択がオプティマイズ表示なので、ステップB1よりステップB2に進み、オプティマイズドデータ一時保存手段7内に保存されているオプティマイズされた符号91で示すデータを選択し、データ解析手段3がそのデータを解析して（ステップB4）、出力手段4が表示する（ステップB5）。

【0045】

次に、保存するか否かの判定で、保存すると判定すると（ステップA9でYES）、保存処理に（ステップA10）に進み、図5に示すようにユーザ選択で保存時にオプティマイズ保存（オプティマイズド・データの保存）はしないとなっているので、ステップC1からステップC2に進み、図8に示す入力データを入力データ一時保存手段2から読み出して、正式保存手段10に保存する。

【0046】

このように入力データをそのまま表示せずに自動オプティマイズ表示し、一方で、入力データをそのまま保存することができる。表示と保存における入力データ又はオプティマイズド・データの選択の組み合わせは自由である。

【0047】

なお、本発明のデータ入力手段1、データ解析手段3、出力手段4、オプティマイズ解析手段5、オプティマイズ手段6、選択手段8、ユーザ入力手段9及び正式保存手段10の動作・機能は、これらの手段の動作・機能をCPUの動作により実現させるためのプログラムを記録したCD-ROMなどの記録媒体より当該プログラムをCPUが読み込んで実行することにより実現することも可能である。

【0048】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば以下の効果が奏される。

【0049】

第1の効果は、ユーザが入手したデータの中に最後までユーザに対し出力や表示をしないようなデータが入っていたとしても、ビューアやブラウザが必要では

ないデータに対して解析や表示の作業をする必要がないので、余分な負荷がかからず表示出力の速度が適当なものとなり、かつ、保存する場合も必要でないデータを含めずに保存することができ適当な容量で保存できるという点である。その理由は、時間同期や空間同期を考慮した最適化ルーチンをビューア／ブラウザなどのクライアント側に機能として組み込むため、サーバからもらったデータ全てをそのままビューアやブラウザに表示出力することはせずに、時間的に最後まで表示しないようなデータや、ほかのデータの下に隠れてユーザに見えないようなデータに対しては削除などの最適化がされ、最適化されたデータを表示したり保存したりすることができるためである。

【0050】

第2の効果は、サーバ側から、動画（オブジェクト）が複数重ねあった動画（オブジェクト）群が送付されて来た場合にでも快適な速度で表示でき、保存容量も少なくてすむという点である。その理由は、ビューア／ブラウザ側で空間同期と時間同期の機能を考慮して、表示前、または、保存前に、動画を含むオブジェクト複数を一つのオブジェクトに作成し直す最適化を行うため、表示の速度が高速になり、保存するデータ容量も小さくなるためである。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施形態によるオブジェクト表示記述文書変換装置及び画像ブラウザの構成を示すブロック図である。

【図2】

本発明の実施形態によるオブジェクト表示記述文書変換装置及び画像ブラウザの動作を示すフローチャートである。

【図3】

図2に示す表示処理A8の詳細な動作を説明するフローチャートである。

【図4】

図2に示す保存処理A10の詳細な動作を説明するフローチャートである。

【図5】

図1の選択手段8とユーザ入力手段が使用するオプティマイズ機能を使用する

か否かを選択をするための画面である。

【図6】

図1のオプティマイズ解析手段5の解析するオプティマイズ解析内容及び解析内容に対応した方法及び処理番号を示す表である。

【図7】

図1のオプティマイズ手段6が実行するオプティマイズ処理の内容を示す表である。

【図8】

図1のデータ入力手段1が入力する入力オブジェクト表示記述文書の一例である。

【図9】

図8に示す入力オブジェクト表示記述文書を基にオプティマイズ解析手段5とオプティマイズ手段6が生成するオプティマイズドオブジェクト表示記述文書の一例である。

【図10】

従来例を示すブロック図である。

【図11】

別の従来例を示すブロック図である。

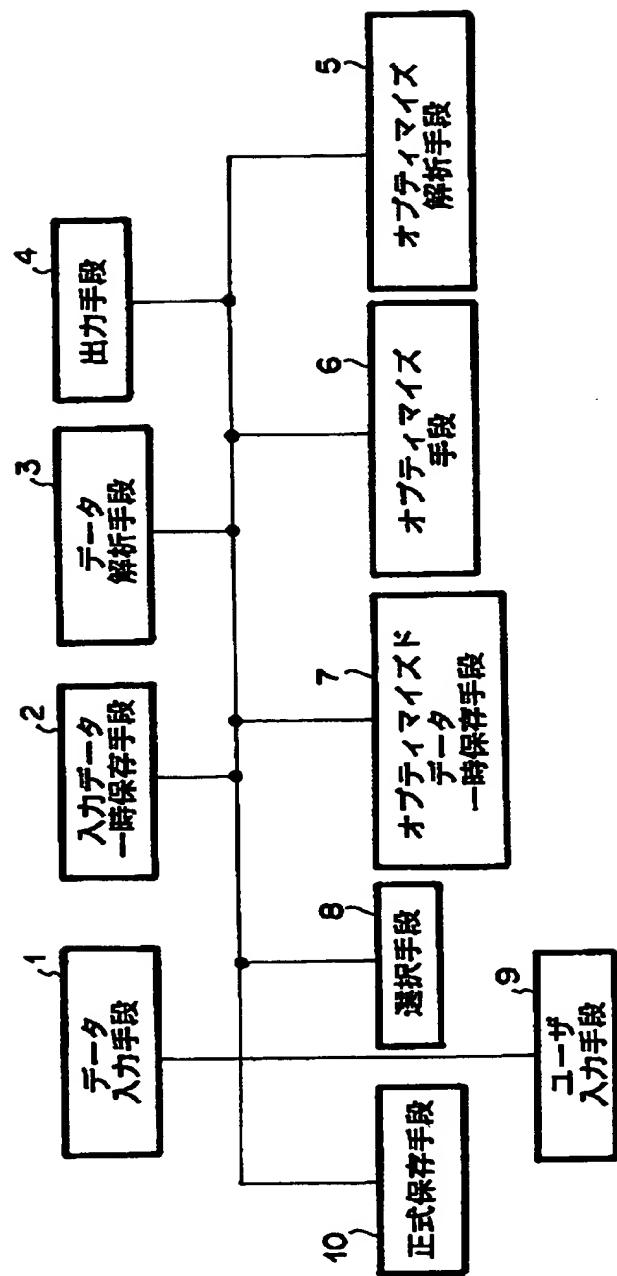
【符号の説明】

- 1 データ入力手段
- 2 入力データ一時保存手段
- 3 データ解析手段
- 4 出力手段
- 5 オプティマイズ解析手段
- 6 オプティマイズ手段
- 7 オプティマイズドデータ一時保存手段
- 8 選択手段
- 9 ユーザ入力手段
- 10 正式保存手段

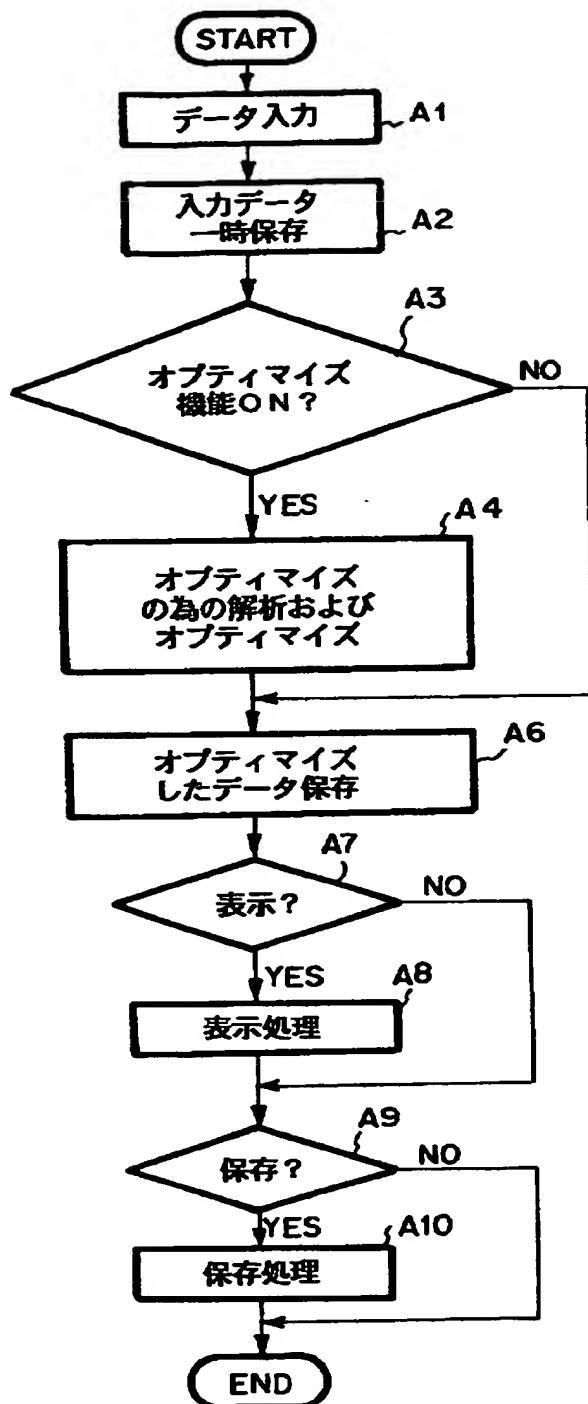
【書類名】

図面

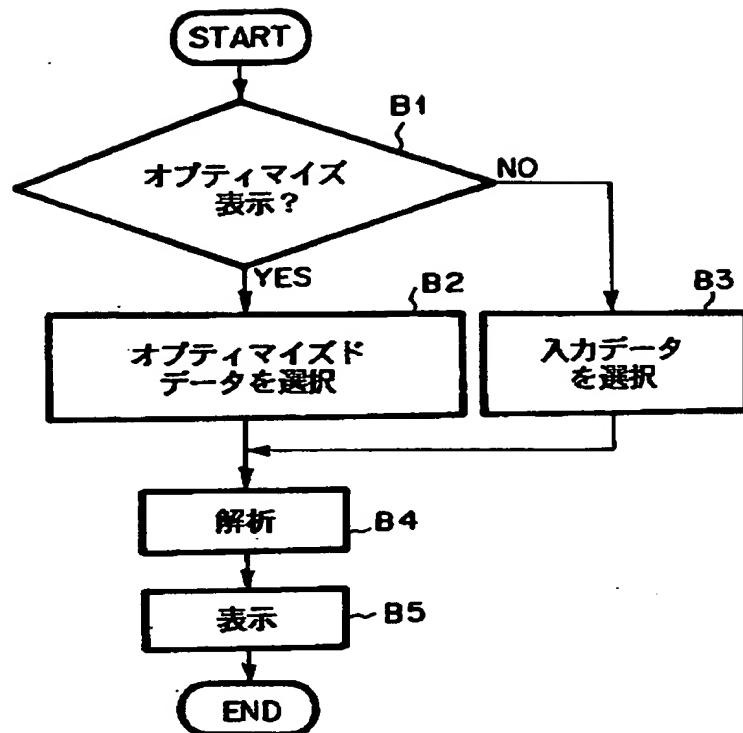
【図1】



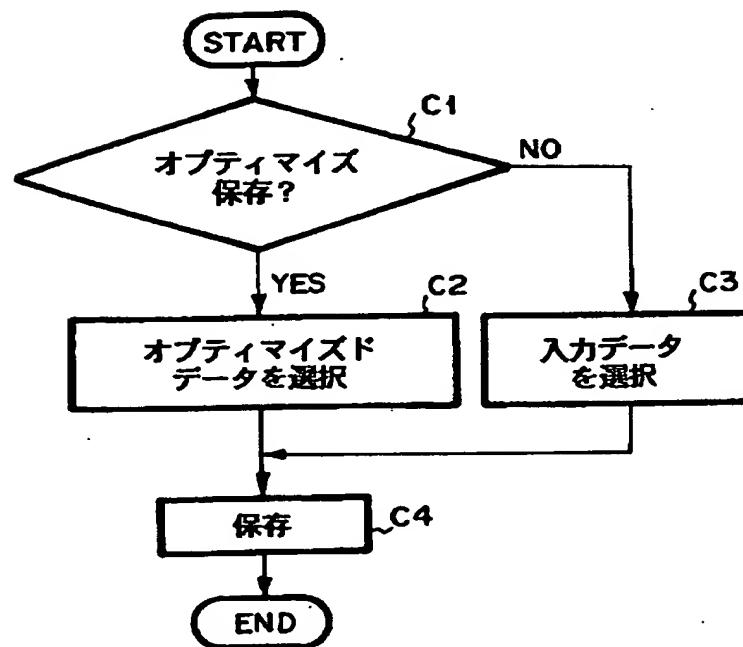
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

51

オプティマイズ機能の使用	
<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
表示に使用	
<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
保存に使用	
<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

【図6】

61

オブティマイズ解析内容	方法および処理番号
1. 複数のオブジェクトが重なり、かつ、一番上のオブジェクトの表示時間内に他のオブジェクト表示時間が完全に含まれ、かつ、一番上のオブジェクトのサイズが、他のオブジェクトのサイズより大きく、表示位置を考慮しても一番上のオブジェクトが他のオブジェクトを隠している場合	
1-1 一番上のオブジェクトが透明または半透明ではない	他のオブジェクトに対し処理1
1-2 一番上のオブジェクトが透明または半透明の場合、一番上のオブジェクトを取り除き、残りの複数のオブジェクトを対象に解析内容1を解析させる	
2. 複数のオブジェクトが時間的にも空間的にも重なり、一番上にあるオブジェクトが半透明または透明	
2-1 動画が含まれる	完全に重なる時間に 対し全てのオブジェクトに対し処理2
2-2 動画を含まない	完全に重なる時間に 対し全てのオブジェクトに対し処理3
⋮	⋮
N. オブジェクトの表示時間が完全に全体の表示時間範囲を超えて設定されている	オブジェクトに対し 処理1

【図7】

71

処理番号	オプティマイズ処理内容
処理1	オブジェクト削除
処理2	オブジェクトを複数重ねた合わせた動画 を新たに一つの動画に作成し直す
処理3	オブジェクトを複数重ねた合わせた静止 画を新たに一つの静止画に作成し直す
:	:
:	:
処理M	内容M

【図8】

81

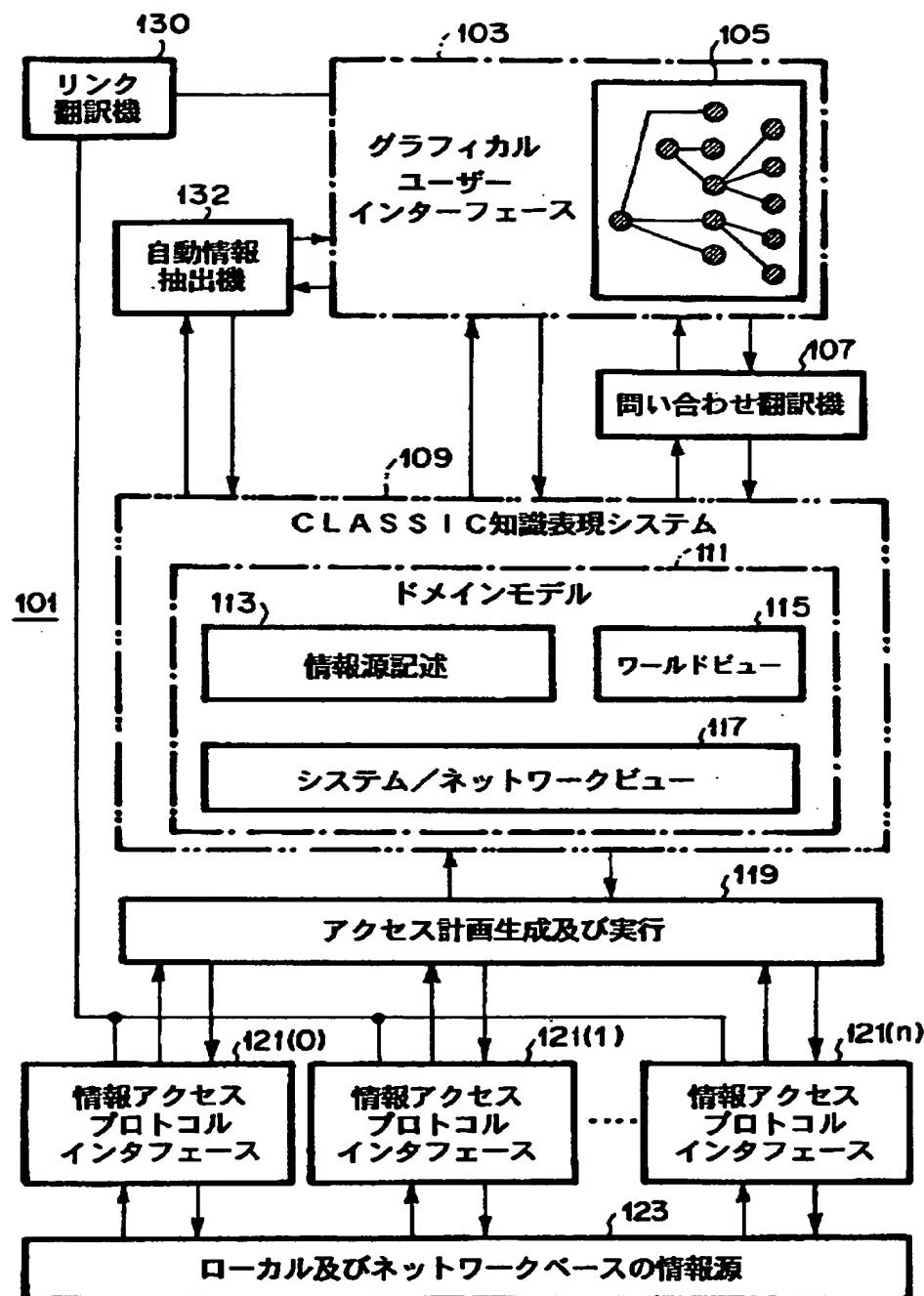
<データ始まり>
 <以下のデータ全てを0から10分まで表示>
 <静止画ファイルAAA、5分から10分まで表示、座標(10,10)、サイズ20×30、
 優先順位2>
 <テキストファイル BBB、7分から9分まで表示、座標(10,10)、サイズ10×10、
 優先順位3>
 <動画ファイルCCC、5分から10分まで表示、座標(10,10)、サイズ20×40、
 優先順位1、半透明>
 <動画ファイルDDD、15分から20分まで表示、座標(0,0)、サイズ10×10、
 優先順位1>
 <データ終わり>

【図9】

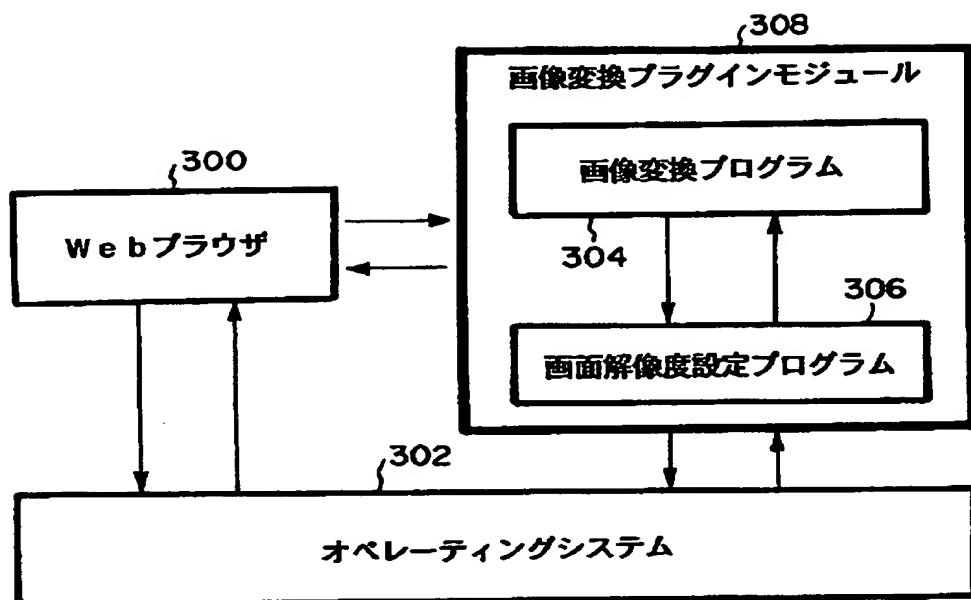
91

<データ始まり>
 <動画ファイルXXX、5分から10分まで表示、座標(10,10)、サイズ20×40、
 優先順位1>
 <データ終わり>

【図10】



【図11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 画像を表示するための負荷が低減でき、文書データを保存するための必要容量を削減することを可能とするオブジェクト表示記述文書変換装置およびそれを備えたブラウザを提供する。

【解決手段】 文書内の複数の元のオブジェクトより、該複数の元のオブジェクトの組より得られる表示画像と同等の表示画像を得るための、複数の元のオブジェクトよりも数が少ない新たなオブジェクトの組を生成する生成手段を備える。

【選択図】 図1

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

〈認定情報・付加情報〉

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】 申請人

【識別番号】 100065385

【住所又は居所】 東京都港区浜松町1丁目18番14号 S V A X 浜
松町ビル

【氏名又は名称】 山下 穏平

出願人履歴情報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区芝五丁目7番1号

氏 名 日本電気株式会社